



同窓会

有朋会

元阪神タイガース
糸井嘉男氏卒業生に語る!



松坂大輔氏・藤川球児氏・糸井嘉男氏の
サイン入りグッズプレゼント企画を誌面で発表!

詳細は裏表紙を
ご覧ください!

「有朋会」公式LINE登録者限定プレゼント企画

藤川球児氏のサイン入りグッズなどを抽選でプレゼント!

2026年1月28日(水)までに有朋会公式LINEにご登録いただいた方を対象に、ホームカミングデーで
ゲスト登壇いただいた松坂大輔氏・藤川球児氏・糸井嘉男氏のサイン入りグッズ、
または会報誌でご紹介のTHE NEIGHBORSフラワーブーケを抽選で合計10名の方にプレゼントいたします。





サイン入りグッズ
(松坂大輔氏・藤川球児氏・糸井嘉男氏)

フラワーブーケ
(THE NEIGHBORS)

有朋会公式LINEは
こちら
1/28までにご登録を!



中内学園流通科学大学寄付金

本学では学生のための奨学支援や教育環境・施設設備の一層の充実を図るべく、本学の理念や取り組みにご賛同くださる皆様から広く寄付金、ご支援を仰ぐ寄付金制度を設けています。

昨今の厳しい経済情勢のなか誠に恐縮でございますが、今後の流通科学大学と教育活動の発展には是非ご期待いただき、格別のご協力を賜りますよう謹んでお願い申上げます。

皆さまからいただいた寄付金の使途

- ・大学における教育研究の振興
- ・奨学金制度の充実
- ・課外活動支援の強化
- ・大学の施設設備の充実

詳しくは、
大学HPまで



卒業生子女入学奨学金のご案内

2026年度流通科学大学入学者を対象に、本学卒業生の子女が入学する場合、入学時に20万円の奨学金が支給されます。

項目	内容
資格・要件	流通科学大学の入学試験を経て新たに入学した学生で、流通科学大学卒業生の子女に支給されます。
支給方法	給付
支給期間	入学時1回限り
金額	20万円

詳細につきましては、学生課(078-794-3552)までお問い合わせください。

住所・連絡先が変わった方へ

住所や勤務先・メールアドレスが変わられた方、ご結婚等でお名前を変えられた方は、有朋会事務局までお知らせください。ホームページより入力も可能です。

※住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物(会報誌等)が未着となりますので、必ずご連絡をお願いいたします。



特別講義のご案内

卒業してからも受講できます。なお、学生の受講状況によってはお断りする場合もございます。あらかじめご了承ください。

※本学卒業生のみ受講可能です。卒業生以外の方は受講できません。



資格講座のご案内

大学で開講されている資格取得講座を受講できます。
お得な割引特典もありますので、ぜひご活用ください。



企画発行元
有朋会事務局

掲載内容の無断転載、複写を禁じます。

●各種お申込み・お問い合わせは、有朋会 HP・メール・電話をご利用ください
〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番
TEL:078-796-4397 FAX:078-796-4124

有朋会 HP URL <https://www.yuho-kai.com/>
E-mail:umds_yuho@red.umds.ac.jp

マークスライフ株式会社
花原浩一さん

阪神・淡路大震災の直後に入学
その経験が住宅業界を志す原点に
「流通を科学する」という未来志向

いました。「居酒屋で息子の同級生と
わかるとご馳走してくれた」「いつも気
にかけてくれていた」と聞き、驚くと

の学びに惹かれ、流通科学大学を選びました。入試は阪神・淡路大震災からわずか1ヶ月後で、入学後も大学の近くに住まいが見つからないなど、震災の爪痕を身近に感じる日々でした。神戸の街が一気に壊れていく様子を目の当たりにし、"地震に負けない家をつくりたい"という思いが芽生えました。その思いを胸に、卒業後は大手総合住宅メーカーへ就職しました。

入社後は戸建住宅の営業を担当し、後に団地再生プロジェクトの現場責任者となりました。しかし、高齢化が進む街で人口が減り、空き家が増える現実に直面。企業のミッションと街の再生を両立することの難しさを痛感しました。2011年には横浜へ異動。東日本大震災の影響もあり東北から首都圏へ人口が集まり新しい街ができるいく方で、地方では過疎化が進み空き家が増え続けていく状況に、強い疑問を抱きました。

限りある人生だからこそ
社会のために尽くしたい

「成仏不動産」――”人が亡くなつた不動産”に新たな価値を

事業を進めるなかで、孤立死があつた物件の対応に困るケースがありました。しかし、目の前で困つてゐるご遺族様がいる。ならば、いわゆる”事故物件”と呼ばれる家の価値を上げ、次に住む人につなぐことができれば、空き家問題の新しい解決策になるのでは



山林や事故物件まで対応し、空き家問題解決を目指す

マークスライフ株式会社 代表取締役社長

花原 浩二さん

PROFILE Koji Hanahara

1999年3月 情報学部経済情報学科卒

MarksLife

<https://marks-house.jp/>



2030年に1000億を占め、

人がお亡くなりになつた物件は低い価格で取引されがちです。情報をいち早く取得し、当社が手がけることで正しい価値で市場に流通させたいと考え、葬祭事業者様との提携を模索しました。葬祭事業者様がご葬儀の縮小などで苦労されているなか、「葬儀外収入を不動産でつくる仕組み」をご提案したところ、提携先は全国で200社を超えるました。さらにご遺族様のお困りごとを解決したいという思いから、牛前対策の必要性を感じ、介護・医療機

連携を広げています。売上高は、人をお助けした結果、そう考えながら歩んできました。2030年に1000億を目指に掲げています。

今後はリノベーション・ブランドの展開や建築事業など、加工するビジネスにも挑戦していきます。また、後継者不足に悩む企業様のご相談が増えていることから、新たにM&A事業もスタートします。大きすぎず小さすぎない当社だからこそできることがある。その強みをいかし、ライフソリューション企業へと成長していきます。

私は常に“自分のルーツ”を大切にしたいと思っています。ビジネスでは同窓生とのつながりも多く、これからも母校を盛り上げ、挑戦する同窓生の姿を発信し、流通科学大学の価値向上に貢献していきたいですね。



Feelings &
Challenge

THE NEIGHBORS

小西 健太さん

これまでの出会いと自分を見つめ直した時間が、いま、花開く

2度の就職活動を通じて
真摯に自分を見つめ直す

大学生活で一番思い出にあるのは、就職活動ですね。最初は特に何も考えず、CMに好きなスポーツ選手が出ていた証券会社を受け、内定をもらいました。でも、「一生そこで働く姿がイメージできませんでした。卒業に必要な単位は取得していましたが、就職活動をやり直したいとの思いが強く、1年留年をし、再び就職活動をしました。

その時、それまでの人生で一番のターニングポイントは、と自問したところ、阪神・淡路大震災だといました。自宅は全壊しましたが、町内に1軒だけ無事に建っていた光景が思い浮かび、住宅メーカーを志望し、就職しました。

就職活動は行動範囲が気に広がったようを感じられ、大学生活で一番面白かったです。一度立ち止まって自分を見つめ直し、何をしたいかを考える良い機会だたどっています。ゼミの加藤慶一郎先生も思い出深いです。学生との距離感も近く、難しかった卒論も、先生とお話しするうちに、あれよあれよと完成しました。

住宅メーカー就職後は、東京で営業を担当していました。当時は超体育会系で休みもなければ「数字が全て!」という感じで、あまり長続きせず3年ほどで地元の神戸に帰ってきました。

うなこと気に気づき、華道を学び始め、嵯峨御流の師範になりました。華やかな花の装飾を手がけているからこそ、生け花の良さもわかります。その幅が仕事にもいきますね。

花屋は紹介なども重要です。そう思うと住宅メーカーで働いた経験がいります。これまでのことが全てつながって今があるのだと感じます。花輪を販売するのも数億円の家を販売するのも同じ気持ちでしないダメで。それができているから、今の仕事があるのだと思っています。

贈る側の人も心ときめく
明るくカラフルな花々

10年経つたら店舗を持ちたいという思いがあり、今から7年前に店を神戸にオープンしました。最初はハンター坂にありました。安藤忠雄さん建築の今場所に空きが出たので移転しました。現在は小売りのほか、ディスプレイやイベントの装飾、ウエディング、そして大きな花屋を対象としたコンサルティングも行っています。待つけの花屋の時代は終わっていると思います。今はデザイナーや見を見提供することでビジネスが成り立っています。

また、SNSも大いに活用しています。母の日の催事など事前に世代や花 자체の鑑賞価値は高いのですが、インフルエンサーが発信することで、手の届く憧れを演出し、さらに鑑賞価値を上げていきます。そういうマーケ

花との出会いが導く
多くの人と縁

学生の時に三宮センター街を歩いていたら、「うちでバイトしないか」といきなり声をかけられたんですよ。その人は神戸でも老舗の生花店の社長で、こんな経緯でバイトを始めました。

住宅メーカーを退職して神戸に戻ったところ、「その年でぶらぶらしてたらアカソ。いますぐエプロンを巻け」と。そこから花屋になると覚悟を決め、基本の「き」からいろいろと教えてもらいました。

それから、フロワー・デザイナーのリュ・リレイさんの存在を知り、その仕事を素敵だと思い、生花店を辞めて弟子入りしました。見習いとして一から出直し、ウエディングや広告関係の仕事を従事しました。

33歳で独立し、ウエディングドレスや洋服関係の海外口ケに帯同し、現地で花を調達しコーディネートする仕事をしました。海外口ケの仕事はめちゃくちゃ面白かったです。海外の花屋では「日本には最高にイケてる生け花ださいー私たちの店では、花の色がとにかく明るくカラフルです。贈る側の人もワクワクできるように花を選んでいます。今後は花だけではなく、ファッションの分野など、花にちなんだ分野も視野に物販にも力を入れていきたい

実は後悔していることがあります。学生時代に、もっと世界を見ておけばよかった。最近の若い人はチャレンジしない、何もしない主義だなって思うのです。どうやらそれは日本だけの話で、海外に行くと日本だけ元気がない感じます。若い時こそ海外の文化に触れ、いっぱいチャレンジしてほしいですね。失敗してもそのほうが人生豊くなりますから。言語の壁? 笑顔で乗り切ることが圧倒的に多いですよ!



商品を販売する前から、自分たちの世界観をSNSで発信

THE NEIGHBORS

小西 健太さん

PROFILE Kenta Konishi

2006年3月 商学部流通学科卒

加藤慶一郎ゼミ

THE NEIGHBORS

<https://rencale.theshop.jp/>

取材オフショットを公開中!





ベトナム・ミャンマー留学生ダンスチーム



アメリカン・フットボール部



吹奏楽団

糸井嘉男氏
トークショー



在学生も演奏や
パフォーマンス・運営で参加!



同窓生のみなさん、おかえりなさい ホームカミングデー 2025開催!



糸井嘉男氏のヒッティングテーマ曲を吹奏楽団が演奏♪

同窓会の恒例イベント「ホームカミングデー2025」が8月2日(土)に開催されました。学園創設者中内功氏の誕生日に行われた今年のホームカミングデー。今年のトークショーゲストは元プロ野球選手で、現在阪神タイガースのシニアディレクターである糸井嘉男氏。流通科学大学吹奏楽団演奏による阪神タイガース時代のバッターボックスへの登場曲にてステージに登場。その後のヒッティングマーチの演奏の時にはバットをスイングするパフォーマンスも。トークショーでは現役時代の苦労した話や苦難、そして打者として成功にいたった体験をはじめ、来場者からの質問にも快く回答いただき、サインボールに握手と、当日来場された方全員が笑いに包まれたトークショーを展開していただきました。





「鮪名人」
出張マグロ解体ショー



RYUKA DINING

さまざまなイベントで 大賑わい!



留学生企画バティック体験



お菓子つかみどりじゃんけん大会

在学生の成果発表の場として

憩親スペースRYUKA DININGでは「わくわくひろば」を開催。留学生によるインドネシアのバティック体験、ミャンマーダルマづくり、社会イベント隊ランニングボランティア部によるスーパー・ボールすくい、学園祭実行委員会によるお菓子つかみどりじゃんけん大会と在学生たちも来場者に楽しんでいただけるようにさまざまな仕掛けや企画を考えて取り組んでくれました。

マグロ解体ショーを開催!!
子どもから大人まで“興味津々”

今回初めて実施したマグロ解体ショー。目玉企画として多くの来場者の方にお越しいただきました。実物大の本マグロを目の前に写真撮影の人だから。「鮪名人」の職人による軽快な音頭と巧みな包丁さばきにより大トロ、中トロ、赤身とマグロを解体。解体されたマグロはお寿司として振る舞われ、手にした方々は新鮮な味わいを堪能していました。



下宿サークルを復活させて大盛況！ ゼミではコンテストで最優秀賞に輝く



塩見 嘉子さん

PROFILE

2025年3月 人間社会学部観光学科卒
山川拓也ゼミ
株式会社リヨービツアーズ勤務

まさにファースト・インパクトでしたね。高校1年の夏休みに、地元の岡山から流通科学大学のオープンキャンパスを訪れるバスツアーがあつて参加したんです。もともと旅行の仕事に興味があつたので、観光学科に興味を持って。それで実際に行ってみたら、先輩たちがものすごく楽しそうで、やさしくて、いいなあと思って、迷わず入学しました。大学に入った時、後悔しない学生生活を送りたいという気持ちが強く、勉強もそのほかの活動も自分が納得するだけ、同じ熱量で取り組みたいと思っていました。でも最初はコロナ禍で、授業はオンライン。友達ができるくて…。とても不安な気持ちだったんですが、私と同じような学生もいるだろうと下宿サークルを復活させて、最初は下宿生5人でしたが、年に2回の交流会を開催し、卒業前メンバーは20名弱、イベント参加者は50名くらいまで増えたんです。留学生サークルにも所属し、日本人学生との交流の場に、鳴門や奈良を訪ねるバスツアーを企画しました。

クラブは最初、吹奏楽団で活動し、そこの流れで文化会に所属しました。当時はコロナの影響で演奏会など発表活動ができないかったので、昔やっていたクリスマスマイベントを復活させるなど、文化系クラブが活動しやすい環境づくりを考えて実行しました。

かつてはイタリアのホテルで働いていましたが、日本在住経験のある友人に勧められて来日しました。日本のマナーやおもてなしの文化はいま世界で有名ですが、日本人とイタリア人は振る舞いこそ違うけれど気持ちは通じるものがあるなと思って。子どもの頃から『SLAM DUNK』が大好きで、日本のアニメや映画、J-POPカルチャーにも興味がありましたしね。

イタリアの大学でも日本語を少し勉強していましたが、もっとしっかり学びたいと思って、来日後は日本語学校に通い、その理事長に「良い大学はありませんか」と伺ったら流通科学大学の名前が出てきたんです。観光を学べるということで、迷わず決めました。

流通科学大学に編入したのは2021年でしたので、コロナウィルスの影響でスポーツもクラブ活動もできず、ちょっとと残念でしたね。日本語を学ぶために毎日大学に行きましたが、それも難しい時期がありました。でも、勉強はしつかりできたと思います。日本語の授業についていくのは大変でしたが、ホテルのことや心理学などいろいろと学びました。トラベルエージェンシーに関する授業が特に面白かったです。辻本ゼミでは観光プロジェクトを企画し、コンペにも数回参加しました。ゼミ活動で行った淡路島で

PLACE OF EMPLOYMENT

COMPANY PROFILE

スイスホテル南海大阪
大阪市中央区難波5-1-60
<https://swissteltnankaiosaka.com/ja/>

PLACE OF EMPLOYMENT

COMPANY PROFILE

株式会社リヨービツアーズ
岡山県岡山市北区錦町6-1 両備ビル7F
<https://www.ryobi-tours.jp/>

イタリアと日本の文化の違いを 旅行のスタイルから考察して卒論に



日本語の講義を理解するため、授業後は質問し帰宅後は毎日書いて学習して、レポートも時間をかけて日本語で作成し提出しました

はサイクリングや自然とのふれあい、結婚式など、同じ場所に多彩な観光コンテンツがあることを実感しましたね。卒論では、日本とイタリアのホスピタリティの違いをテーマにしました。イタリア人はホテルよりも、友人や親族の家に泊まる 것을好みます。親しい人とずっと一緒にいたいですから。

現在はフロント業務を主に担当しながら、VIP担当者のトレーニングも受けています。ラグジュアリーホテルではコミュニケーションスキルが一番大切です。イタリア語、英語、日本語、フランス語、ドイツ語を喋ることができます、韓国からのお客様も多いので韓国語も勉強して、コミュニケーションの幅をもっと広げていきたいですね。

ゼミも全力です！ 第15回 関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテストではフィンランドへサウナ尽くしの旅をプレゼンして準優勝、「ひめじ観光ビジネスコンテスト」ではお城を眺めながらのガラディナーを提案して最優秀賞を受賞しました。

いまは修学旅行の企画や添乗などの仕事を頑張っています。学生の時から有朋会のイベントなどで社会人の方と関わる機会が多かったので、それが仕事でのコミュニケーションに生きているかなと。また、学生時代にいろいろなことに同時に並行で取り組んできたので、体力を含めマルチタスク力や、どんどん行動していく力がついたのかもしれませんね。ちょっと、『欲張り』なくらいに（笑）。



「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ・全国決勝大会」で全国1位「社会人基礎力大賞」を受賞

在学生が創り上げる特別な一日

本学独自プログラム「キャンパスウェディング」



スペシャリストの育成を目的に、各業界の現状やプロのノウハウを集中して学ぶことができる、本学独自の人材育成プログラム「キャリアアップセミナー」のひとつで、一般募集したカップルの結婚式を学生がプロデュースします。授業は4月より始まり、配役やチーム決め・新郎新婦との打ち合わせ・自分たちでプロデュースする会場装飾や進行などを実践しながら学びます。8月23日(土)の本番では、キャンパスでの挙式・RYUKA DININGでの披露宴が行われ笑顔と幸せがあふれました。チーム一丸となって成し遂げた達成感。学生たちにとって特別な一日となりました。

会場装飾も自分たちで
創り上げます挙式の進行も
スムーズにキャンパス全体が
祝福ムードに披露宴でも細やかな
おもてなしをVoice
みんなの記憶に残る挙式を
成功させることができました人間社会学部 観光学科 3年
山本 凌輔 さん募集
「キャンパスウェディング」
カップル募集!

キャンパスウェディングは学生が企画から式の運営まで、真剣に考え、心を込めて創る結婚式とパーティです。

流通科学大学を理想の式場に変えて、一生の思い出に残る結婚式と一緒に作りませんか?次年度の募集等に関する情報は大学ホームページをご覧ください。

2025年度
キャンパスウェディングの模様は
こちらからご覧いただけます



人間社会学部観光学科・西村典芳ゼミ

小野市の新特産品「トマト甘酒プロジェクト」



小野市からの依頼を受け、2024年度から「小野市特産品プロジェクト」に取り組んでいる西村ゼミ。昨年度は小野市産のトマトを使った新たな特産品の開発を提案。その後、試作を繰り返し「トマト甘酒」が誕生しました。今年度は、この「トマト甘酒」の認知拡大に取り組み、フィールドワークや試飲販売にも挑戦。その集大成として小野市役所にて市長や職員の方々に実践内容を発表しました。西村ゼミでは今後も引き続き、小野市との「トマト甘酒プロジェクト」に取り組んでいきます。

5月 トマト農園でフィールドワーク



5月17日(土)、トマト甘酒の原料となるトマトの農園「NAKAGAWA FARM」を訪問。ハウス栽培の様子を見学しました。

7月 大阪国際空港でトマト甘酒の試飲販売に挑戦



7月5日(土)、大阪国際空港ターミナルビルの観光・物産情報コーナー「INFORMATIONひょうご・関西」でトマト甘酒の認知拡大に向けて試飲販売と調査に臨みました。

9月 農園にてトマトの定植



9月3日(水)、小野市の農園を訪問。トマト甘酒の原料となるトマトの定植を行い、一から作物を育てる大変さを体感しました。

10月 小野市役所で実践内容を発表



10月15日(水)、小野市役所にて実施された「令和7年度 小野市研究発表会」に参加。これまでの取り組みについて発表を行いました。

Product
トマト甘酒

兵庫県小野市産の「山田錦」と生産者の想いがこめられた「トマト」を使い、ナチュラル製法にこだわって作り上げされました。小野市の販売店等で購入できるほか、ふるさと納税の返礼品としても取り扱われています。今後は、トリコデルマ菌や堆肥を使った環境にやさしい農業を広げ、小野うまいもんブランドの認定や新商品づくりにつなげて価値を高めた地域ブランドを目指します。



クラブ・サークル・ゼミなど同窓生の会をサポート『個別同窓会』援助制度とは

制度について

同窓生同士の交流機会を増やすことで同窓生と有朋会が共に発展することを目指した、クラブ、サークル、ゼミのOB・OG会や同期会といった流通科学大学同窓生の会をサポートする制度です。

援助内容について

■個別同窓会援助内容

- (1) 個別同窓会開催案内送付の代行(往復はがき、または通常はがきによる郵送、郵送費は有朋会負担)
ただし、開催日の1ヶ月以上前に申請が必要。(年1回に限る)
- (2) 記念式典への祝電・同窓会グッズ(法被、横断幕等)の貸与
- (3) 教員の交通費・宿泊費の一部負担(個別同窓会参加費補助規定による)
- (4) 現役生を支援するための費用の一部負担(個別同窓会支援金補助規定による)

男子ラクロス部OB会

8月10日(日)、流通科学大学にて男子ラクロス部のOB会が開催されました。当日は大雨による開催中止も懸念されましたが小雨程度にとどまり、OBと学生部員との親睦を深めるべく行われた交流試合では、「学生合同チーム+コーチ」対「OB+ゲスト有志」による試合が行われ、5対2で学生合同チームが勝利しました。ラクロスの魅力を存分に感じられる機会となり、現役生にとっては翌週から始まるリーグ戦に向けて大きなモチベーション向上につながりました。試合後にはOB総会が開催され、学生およびコーチから今季の活動報告が行われ、OBからもアドバイスを行うなど、今後の活動に向けた有意義な時間となりました。



活用しました!
<現役生支援金>

軟式野球部

現役生支援の制度を利用してクラブ助成を行いました!

2025年度秋季リーグ戦で優勝、第48回全日本大学軟式野球選手権大会(11/16~堺市)に出場しました。



NEWS

中内功記念館、「流通革命の聖地」としてリニューアルオープン



中内功記念館 改装記念式典
2025年9月23日(火)

9月23日(火・祝)、大学内にある中内功記念館が「流通革命の聖地」としてリニューアルされ記念式典が執り行われました。2025年は、大学創設者であり「流通革命の旗手」として知られる中内功氏の没後20年にあたります。中内功氏が生涯をかけて追求したのは「日本の社会と消費者を豊かにすること」。その志と情熱は「流通革命」として結実し、今日の生活インフラの礎を築きました。しかし現在、物価上昇や供給統制など、生活を取り巻く環境は再び不安定さを増しています。こうした時代背景を踏まえ、中内功記念館を「流通革命の聖地」と位置づけ、功績を顕彰するにとどまらず、その思想を次世代へと継承することを目的に展示が刷新されました。「消費者のために」という原点に立ち返り、未来を考えることを目指しています。



事前予約制で見学可能です。
詳細は[こちら](#)



from Rijichoの年度版冊子について
冊数に限りがありますが、
希望者に特別にお渡しさせていただきます。
連絡先:078-796-4001

リニューアルの主なポイント

リニューアルでは、展示内容を以下の3つのテーマに再編し、来館者の理解と共感がより深まる構成へと進化しました。

①中内功の人となり

経営者としてだけでなく、一人の人間としての素顔や魅力に迫ります。

②流通革命の旗手としての思想

既存勢力と闘い、「消費者主権」を確立しようとした、中内功の革新的な流通哲学と使命を読み解きます。

③教育改革と流通科学大学の設立理念

「人を育てることが最大の社会貢献」と考えた教育者としての姿に焦点を当てます。



今回のリニューアルでは、「キャッシュレジスター博物館」も従来の施設から移設しました。中内功氏が生前に収集した歴史的価値あるキャッシュレジスターの数々を新たに収蔵・展示しています。

キャッシュレジスター博物館も移設
(場所は講義棟IV 1階)

留学生支援のイベントを実施しました

有朋会では在学生支援の一環として在学生を対象としたさまざまなイベントを実施しています。

ゆかた着付体験会

8月2日(土)のホームカミングデーでは、昨年に引き続き「ゆかた着付体験会」が開催されました。外国人留学生を中心に参加者を募るこの企画は大人気で、ゆかたの着付けが終わったあとは、皆さん思い思いにポーズをとって撮影会。参加した在学生は夏の伝統衣装を楽しんでいました。



しめ飾り体験イベント

2024年12月4日(水)・11日(水)に「しめ飾り体験イベント」が開催されました。日本の文化に親しむと同時に、留学生と日本人学生との交流を目的として企画されました。思い思いのしめ飾りを作り、お互いの作品を見せ合い、話に花を咲かせしていました。



情報をお寄せください！

経営者・事業承継者の方

経営者または事業承継者の同窓生同士の新たなネットワーク作り、また現役生のために有朋会と大学との連携協力にご賛同いただける多くの経営者の同窓生情報をを集めています。

経営者グループの会メンバー登録募集中!

交流会や勉強会等も実施していますので、ぜひご参加ください。ご登録は有朋会ホームページまで。

全国各地同窓生の お店・会社情報募集

有朋会では同窓生の皆さんからお寄せいただいた情報をもとにお店・会社MAPをホームページで公開しております。同窓生自身が経営しているお店ならOK!ぜひ情報をお寄せください。ご登録は有朋会ホームページ同窓会お店MAPまで!

有朋会 公式SNS

同窓会と大学の「今」をお知らせ



有朋会



<https://www.yuho-kai.com>



2024年度卒業式が行われました

3月19日(水)、2024年度流通科学大学卒業式・大学院修了式が神戸ポートピアホテルで行われました。今年多くの流科大生が、それぞれの未来へと力強く歩みを進めていきました。式典では、岡本有朋会会長による祝辞として社会へ旅立つ後輩たちへの励ましと、同窓生としての温かい歓迎の言葉が贈られました。卒業式の後には、恒例の卒業記念パーティが開催され、会場では仲間や恩師との別れを惜しむ声や、思い出話に華を咲かせる声、再会を約束し合う声があふれ、最後の学生生活を惜しむかのように盛り上がっていました。



有朋会賞が授与されました

「流通科学大学の卒業生として“誇り”に感じられる活動を行った学生」を同窓会として表彰する有朋会賞。2024年度は4名が選出され、贈呈式が行われました。



左から森久保 芽実さん、中西 健さん、志賀 有紗さん、グエン ヒエン フォン リンさん

9月卒業式が行われました

9月18日(木)、2025年度9月卒業式・大学院修了式が流通科学大学で行われました。学長より卒業生全員に卒業証書と学位記が授与され、卒業生たちは学び舎を後にし新しい道へと進っていました。



卒業生図鑑2025を発刊しました

有朋会では設立30周年を記念して行った事業の一環として、2022年度から「卒業生図鑑」を発刊しています。活躍する同窓生を紹介した冊子で、在学生に同窓生の活躍を知ってもらい、学生生活の目標・参考として活用してもらっています。2025年度版の新コーナーとして「在学生と同窓生がかかわっています」、「2024年度卒業生インタビュー」を新たに掲載し、さらにパワーアップした内容となっています。



2026年度も発刊予定で、寄稿していただく同窓生を募集しています。
詳細は有朋会のホームページをご覧ください。

りゅうか祭での憩いの場「卒業生ラウンジ」

11月8日(土)・9日(日)の2日間、2025年度の学園祭「りゅうか祭」が開催されました。有朋会では同窓生の憩いの場「卒業生ラウンジ」を実施し、ご家族・お子さま・ご友人同士など多くの同窓生にお越しいただきました。

今年は安田有朋会事務局長の発案で、オリジナルキー ホルダーづくりを実施。材料はペットボトルのキャップを使い、いろんな色のキャップを使って独自のデザインの形に整え高温のアイロンでプレスすると、色とりどりの形をしたキー ホルダーが完成。お子さまから大人まで多くの方に喜んでいただきました。



東日本支部

バーベキュー大会が開催されました

5月31日(土)、都立新木場公園バーベキュー広場にて、有朋会東日本支部恒例の「バーベキュー大会」が開催されました。当日はあいにくの雨模様ではありましたがあ、同窓生やそのご家族など、大人20名・小学生3名を含む計23名が参加。幅広い年代が集まり、世代を越えた交流が行われました。会場は終始和やかな雰囲気の中、食べて、飲んで、笑って、和気あいあいとした楽しいひとときを過ごされたようです。



同窓生ゴルフコンペ

世代を超えた絆が深まる「同窓生ゴルフコンペ」が行われました

2024年11月30日(土)、小野グランドカントリークラブのNEWコースにて、同窓会として初めてのゴルフコンペが開催されました。当日は秋空の快晴に恵まれ、1期生から29期生まで同窓生11名が参加。世代を超えた交流を楽しみながら和気あいあいとゴルフを楽しめました。プレー後の懇親会では、まず成績発表と景品の進呈が行われました。その後、名刺交換や歓談が行われ、参加者同士が親睦を深めあい、大いに賑わうひとときとなりました。今回ご参加いただいた皆さんには喜んでいただけたようです。



[同窓生による経営者の交流会] 分科会「経営者の会」

同窓生の経営者層（経営者・個人事業主・起業を目指す方・経営に関心のある方など）同士が交流できる分科会「経営者の会」が2017年に発足しました。経営者層同士の交流・情報交換を目的とした分科会です。今後も交流会や勉強会などを実施予定ですので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

経営者の会 in 東京

11月14日(金)、第5回となる経営者の会を東京にて開催しました。第一部では勉強会として、同窓生でクローバーデザイン株式会社の代表取締役を務める上田啓治さん(1998年卒)に『経営の根本に潜む“落とし穴”～4ヶ月で410万円を失って気づいた「流行りに頼らない商売の鉄則」～』というテーマでご講演いただきました。初めて飲食店経営を経験したからこそ貴重な実体験についてお話をいただき、参加者からも具体的な質問が飛びディスカッションが行われるなど、業種をこえて最後までいろんな話が展開されていました。第二部の懇親会では、乾杯のあと参加者から自社の紹介や取り組みなどを話し、お互いのことをよく知れる場となりました。毎回のようにご参加いただいている同窓生もいれば今回初めて参加の同窓生もおられましたが、やはりそこは同窓生同士。すぐに打ち解けて交流を持つことができたようでした。普段はなかなか接点がない同窓生同士、交流できる場として活用してもらえる場として継続していきます。次回も多くの方に参加していただけますよう、ご参加をお待ちしています。

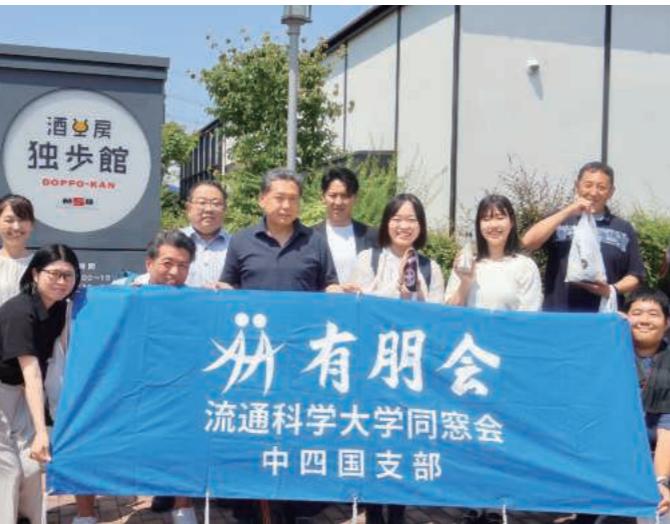


関西では2026年
1月23日(金)
神戸で
開催予定です。

中四国支部

お酒と共に和を醸す、中四国支部交流会が行われました

6月28日(土)、中四国支部交流会が開催されました。今回の企画は岡山市にある宮下酒造という老舗酒造の見学会、ご家族を含む9名の参加者は多くが初対面でしたが、すぐに打ち解け、終始和やかな会となりました。クラフトビールの製造工場では、スタッフによる丁寧で分かりやすい説明と共に、使用しているホップやモルトの香りを実際に体験してみるなど、五感を使った学びとなりました。また工場にはドイツ製の醸造設備やウイスキー・ジン・ウォッカの蒸溜器などもあり、参加者からは「大変興味深かった」との声が上がっていました。その後はレストランに会場を移して会食と交流会。各世代の参加者が学生時代の思い出や現在の仕事について語り合い、世代を超えた共通点や、逆に世代ごとのギャップといったさまざまな話題に笑いが起こっていました。参加された方からは「普段なかなか会えない同窓生と再会できて嬉しい」「またこのようないベントに参加したい」といった感想もあり、有意義で実りの多い交流会となりました。



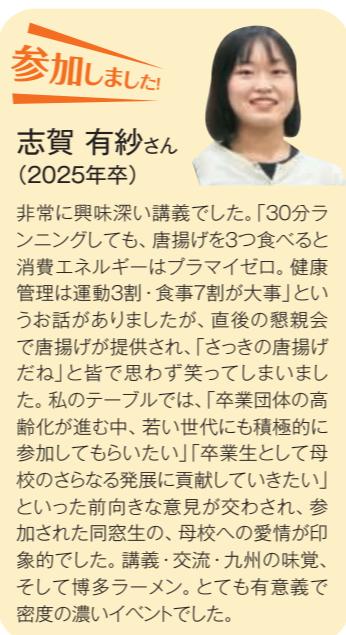
参加しました!
塩見 嘉子さん
(2025年卒)
初めて参加しました。最初は知っている人がいなくて緊張しましたが、すぐに皆さんと地元ネタで盛り上がり仲良くなつて新しいつながりができました。参加したからこそできたご縁ですよね。卒業してからも新しいつながりができる嬉しいです。ぜひ次回も参加したいです!



九州支部

勉強会・交流会が行われました

7月12日(土)、九州支部勉強会・交流会が福岡市天神にて開催されました。今回は「健康寿命」をテーマとした講義が行われ、その後の懇親会も同窓生同士の親睦を深める場となりました。講義では人間社会学部の山本隼年准教授による「平均寿命ではなく“健康寿命”を延ばそう」を講演テーマとして、体力・筋力の維持が長寿社会においていかに重要であるかについてお話をいただきました。身近で生活に直結したテーマということもあり、参加者の講義を受ける表情は真剣そのもの。講義後には質疑応答もあり、こちらも活発なやりとりが見られました。交流会では九州の名物料理を囲みつつ、さまざまな話題で盛り上がり。それぞれの仕事について・働き方ややりがい・苦労話といった話から母校の現状や今後どうあるべきか、といった話まで、話題は尽きないようでした。



大阪支部

大阪支部交流会が行われました

7月18日(金)、大阪支部企画「テラスで交流会」が梅田のグランフロント大阪で開催されました。当日は三連休前の金曜日ということもあり、20名もの同窓生にご参加いただきました。会場は開放感のあるテラス席で、初参加の方やお久しぶりの方、皆さんそれぞれ食べて飲んで、たくさんお話しして、とてもぎやかな会となりました。



大阪・神戸支部

温かい交流が生まれた大阪・神戸合同イベント

2024年12月15日(日)、大阪支部と神戸支部の合同企画「神戸須磨シーワールドへ行こう」を開催しました。家族連れで参加された同窓生が多く、20名が集まる賑やかなイベントとなりました。はじめに全員でシャチやイルカのパフォーマンスショーを鑑賞。目玉イベントらしくステージは満員で熱気に包まれており、シャチやイルカが迫力あるジャンプなどを見せる度に大歓声が上がっていました。ショーの後は自由行動として、参加者は瀬戸内海の原風景を再現した展示や、生きものたちの豊かな行動を観察できる「アクアライブ」など各自に楽しんでおられました。



神戸支部

神戸支部交流会が行われました

11月7日(金)、神戸支部交流会「週末は気軽に、三宮で集まろう!」を三宮駅のすぐ近くの会場で開催しました。久々の開催となりましたが、幅広い世代や業種を超えた同窓生にご参加いただきました。各テーブルごとに会話が盛り上がったり、会場内のいたるところで笑い声がたえない交流会となりました。



2024年度 決算

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

【収入】 (単位:円)

勘定科目	本年度	決算額	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	461,767,312	461,767,312	0
会費収入	33,600,000	31,080,000	△ 2,520,000
卒業予定者数	960名	888名	△ 72名
受取利息収入	500	17,211	16,711
カード収入	1,500,000	1,440,604	△ 59,396
広告宣伝収入	0	0	0
各種懇親会参加費収入	100,000	12,000	△ 88,000
雑収入	0	3,000	3,000
資産運用収入	2,000,000	1,985,864	△ 14,136
前年度繰越金を除く収入計	37,200,500	34,538,679	△ 2,661,821
合 計	498,967,812	496,305,991	△ 2,661,821

【支出】 (単位:円)

勘定科目	本年度	決算額	差異
備品・消耗品費	500,000	260,732	239,268
印刷費	4,800,000	3,220,917	1,579,083
通信費	4,700,000	4,241,750	458,250
会議費	200,000	63,660	136,340
交通費(出張旅費含む)	1,700,000	1,336,203	363,797
年間事業費	学園祭	200,000	108,200
	ホームページ	1,600,000	1,197,513
	各種イベント	5,000,000	3,132,152
	広告宣伝	100,000	0
人件費	1,400,000	1,200,000	200,000
システム関連費	300,000	103,462	196,538
卒業記念パーティー	6,500,000	5,586,094	913,906
慶弔費	200,000	63,000	137,000
手数料等	100,000	39,512	60,488
支部交流援助金・支部年間事業費	1,500,000	684,141	815,859
個別同窓会援助費・大学助成	4,000,000	3,471,582	528,418
カード加入促進費	0	0	0
予備費	1,000,000	0	1,000,000
資産運用委託金	434,000,000	407,318,327	26,681,673
小 計	467,800,000	432,027,245	35,772,755
(資産運用委託金を除く支出計)	33,800,000	24,708,918	9,091,082
繰越金	31,167,812	64,278,746	33,110,934
合 計	498,967,812	496,305,991	

2025年度 予算

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

【収入】

(単位:円)

勘定科目	本年度	前年度	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	471,597,073	461,767,312	9,829,761
会費収入	29,400,000	33,600,000	△ 4,200,000
卒業予定者数	840名	960名	△ 120名
受取利息収入	500	500	0
カード収入	0	1,500,000	△ 1,500,000
広告宣伝収入	0	0	0
各種懇親会参加費収入	0	100,000	△ 100,000
雑収入	0	0	0
資産運用収入	2,000,000	2,000,000	0
前年度繰越金を除く収入計	31,400,500	37,200,500	△ 5,800,000
合 計	502,997,573	498,967,812	4,029,761

【支出】

(単位:円)

勘定科目	本年度	前年度	差異
備品・消耗品費	200,000	500,000	△ 300,000
印刷費	4,500,000	4,800,000	△ 300,000
通信費	5,100,000	4,700,000	400,000
会議費	200,000	200,000	0
交通費(出張旅費含む)	1,700,000	1,700,000	0
年間事業費	学園祭	200,000	200,000
	ホームページ	1,500,000	1,600,000
	各種イベント	4,500,000	5,000,000
	広告宣伝	0	100,000
人件費	1,400,000	1,400,000	0
システム関連費	200,000	300,000	△ 100,000
卒業記念パーティー	5,700,000	6,500,000	△ 800,000
慶弔費	100,000	200,000	△ 100,000
手数料等	100,000	100,000	0
支部交流援助金・支部年間事業費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
個別同窓会援助費・大学助成	3,500,000	4,000,000	△ 500,000
カード加入促進費	0	0	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0
資産運用委託金	434,000,000	434,000,000	0
小 計	465,300,000	467,800,000	△ 2,500,000
(資産運用委託金を除く支出計)	31,300,000	33,800,000	
繰越金	37,697,573	31,167,812	
合 計	502,997,573	498,967,812	

有朋会

会長／岡本 一展 (95年3月卒 4期生)

副会長 兼事務局長／安田 政彦 (96年3月卒 5期生)

副会長／茨木 耕司 (95年3月卒 4期生)

副会長／林 慶太朗 (01年3月卒 10期生)

副会長／藤井 洋三 (04年3月卒 13期生)

副会長／上甫木誠志 (05年3月卒 14期生)

副会長／野田 健 (09年3月卒 18期生)

監査／松岡 高史 (99年3月卒 8期生)

監査／岡田 瑞穂 (05年3月卒 14期生)

東日本支部

設立年月日 1995年4月26日

支部長／高村 信希 (14年3月卒 23期生)

副支部長／齊藤 弘文 (96年3月卒 5期生)

游 雅 (98年3月卒 7期生)

大和田 貴子 (08年3月卒 17期生)

黒田 樹 (18年3月卒 27期生)

台湾支部

設立年月日 2001年9月15日

支部長／陳 玉燕 (大学院01年3月修了)

副支部長／李 宗翰 (大学院07年3月修了)

中華人民共和国(上海)支部

設立年月日 2002年10月20日

支部長／孫 偉 (01年3月卒 10期生)

副支部長／王 海明 (00年3月卒 9期生)

中華人民共和国(大連)支部

設立年月日 2019年6月1日

支部長／曲 曙娟 (大学院10年3月修了)

副支部長／金 壊亮 (大学院10年3月修了)

神戸支部

設立年月日 2011年6月18日

支部長／平田 雅輝 (94年3月卒 3期生)

大韓民国支部

設立年月日 2004年7月3日

支部長／金 惠蘭 (大学院05年3月修了)

副支部長／朴 相賢 (02年3月卒 11期生)

崔 甫息 (02年3月卒 11期生)

中四国支部

設立年月日 2006年12月9日

支部長／蓬郷 健 (01年3月卒 10期生)

副支部長／大久保 慶一 (16年3月卒 25期生)

ベトナム支部

設立年月日 2016年12月10日

支部長／グエントウイット オアン (16年3月卒 25期生)

副支部長／グエン ティー チャム アン (16年3月卒 25期生)

チャン タン ヴィ (16年3月卒 25期生)

九州支部

設立年月日 1998年10月30日

支部長／三島 一郎 (04年3月卒 13期生)

副支部長／野口 勝利 (93年3月卒 2期生)

神崎 和子 (94年3月卒 3期生)

岩谷 栄徳 (99年3月卒 8期生)

総会・交流イベントが開催されました

5月24日(土)、2025年度有朋会総会が開催されました。総会では昨年度の事業報告・決算報告のほか、今年度の事業計画・予算計画等についての審議が行われました。あわせて学生との交流や各支部で開催された催し、ホームカミングデーや学園祭での活動についても、スライドを用いながら説明がありました。また、総会終了後には学内の国際交流施設棟内にて、在学生との交流バーベキュー大会も実施され、同窓生・在学生が学生生活や就職活動など、さまざまな話題で交流をあたためました。

